

2019年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月10日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL https://www.woodfriends.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 笹原 利明 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 2019年5月期第3四半期の連結業績（2018年6月1日～2019年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	24,348	7.4	747	△8.5	520	△28.5	307	△30.5
2018年5月期第3四半期	22,676	12.6	816	26.0	727	56.3	442	56.1

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 345百万円 (△26.8%) 2018年5月期第3四半期 472百万円 (46.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	210.70	—
2018年5月期第3四半期	303.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第3四半期	28,644	6,128	20.1	3,954.87
2018年5月期	22,411	5,958	25.1	3,864.86

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 5,767百万円 2018年5月期 5,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2019年5月期	—	0.00	—		
2019年5月期（予想）				95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2019年5月期の連結業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,200	5.5	1,210	△0.5	890	△17.4	560	△20.6	384.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年5月期3Q	1,480,000株	2018年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2019年5月期3Q	21,778株	2018年5月期	21,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年5月期3Q	1,458,222株	2018年5月期3Q	1,454,642株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年5月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2019年2月28日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いております。名古屋駅周辺の開発に加え、近隣地域の開発が進み、更なる経済活性化に期待が高まっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年から引き続き増加基調が続いております。分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、消費税増税前を商機としてとらえ着工数が増加しております。戸建住宅の供給数が増加する事により市場競争は激しくなっており、消費税増税前までの傾向はより一層強まると考えております。

② 当社の取り組み

- ・商品住宅として工業化と規格化を推進し、事業工期の短縮、品質の安定化を行うとともに、情報処理技術を用いた顧客データベースと、ヒューマンタッチな営業を融合させることによる販売差別化を推進しました。
- ・住宅主要部品の工業化を一層進めるため、住宅パネルの製造を行う工場を新設し、稼働いたしました。また、岐阜工場で生産する製品の物流および建築部品の工業化を推進するための拠点として、新たに工場用地および建屋を取得いたしました。建築資材の更なる内製化を行い、オリジナル建材の製作などにより商品差別化を進めるとともに、生産性の向上、コスト改善に取り組んでまいります。
- ・アセットマネジメント事業において、お客様の利便性向上を目的として、ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部のネット予約システム構築、ゴルフ場内のショップ改修工事を行いました。

③ 当第3四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期実績	24,348百万円	747百万円	520百万円	307百万円
前年同期比	7.4%増	8.5%減	28.5%減	30.5%減

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売が主力。住宅建設資材の製造・販売も行う。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	21,743百万円	788百万円	販売戸数が増加し売上高増加。在庫回転率を重視し、一部在庫の販売価格を見直したことにより、利益は減少。
前年同期比	13.1%増	4.0%減	

b AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	1,638百万円	381百万円	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部の運営開始により、売上高および利益が増加。
前年同期比	24.5%増	27.7%増	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	723百万円	24百万円	収益型不動産の販売戸数が減少したため、売上高および利益が減少。
前年同期比	54.7%減	21.7%減	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第3四半期実績	341百万円	10百万円	宅地開発による販売が減少したため、売上高および利益が減少。
前年同期比	44.2%減	88.4%減	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して6,233百万円増加し、28,644百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して6,062百万円増加し、22,515百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して170百万円増加し、6,128百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を鑑み、2018年7月11日公表の通期業績予想を下方修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2019年4月10日)公表いたしました「2019年5月期通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,796,546	3,713,953
完成工事未収入金	6,044	93,568
売掛金	336,746	219,595
販売用不動産	6,324,786	8,075,064
仕掛販売用不動産	5,581,402	9,050,895
商品及び製品	296,612	357,534
未成工事支出金	1,387,720	2,183,047
原材料	224,569	319,988
仕掛品	154,079	123,454
その他	774,699	515,525
流動資産合計	18,883,207	24,652,627
固定資産		
有形固定資産	3,017,470	3,349,665
無形固定資産	98,861	90,988
投資その他の資産	411,497	551,217
固定資産合計	3,527,828	3,991,871
資産合計	22,411,036	28,644,499
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,672,256	1,899,753
買掛金	504,260	397,740
1年内償還予定の社債	161,600	237,900
短期借入金	6,878,157	11,217,208
1年内返済予定の長期借入金	1,626,272	2,362,420
未払法人税等	262,628	58,906
賞与引当金	191,122	58,549
役員賞与引当金	40,000	—
完成工事補償引当金	146,450	123,610
その他	825,660	797,458
流動負債合計	12,308,409	17,153,548
固定負債		
社債	332,000	436,000
長期借入金	2,945,371	4,090,202
退職給付に係る負債	1,756	2,206
役員退職慰労引当金	147,853	152,220
資産除去債務	13,085	13,191
その他	704,527	668,446
固定負債合計	4,144,594	5,362,267
負債合計	16,453,004	22,515,815

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,112,906	5,245,168
自己株式	△41,762	△41,762
株主資本合計	5,635,225	5,767,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	604	△412
その他の包括利益累計額合計	604	△412
非支配株主持分	322,201	361,607
純資産合計	5,958,032	6,128,683
負債純資産合計	22,411,036	28,644,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
売上高	22,676,868	24,348,487
売上原価	19,498,274	21,212,094
売上総利益	3,178,594	3,136,393
販売費及び一般管理費	2,362,376	2,389,154
営業利益	816,217	747,239
営業外収益		
受取利息	36	26
受取手数料	12,799	14,274
違約金収入	3,200	100
補助金収入	84,216	15,349
その他	20,733	27,536
営業外収益合計	120,985	57,286
営業外費用		
支払利息	176,364	213,732
資金調達費用	16,169	28,338
その他	16,773	42,240
営業外費用合計	209,307	284,311
経常利益	727,895	520,214
特別利益		
事業譲渡益	—	5,083
特別利益合計	—	5,083
特別損失		
固定資産除却損	11,124	2,325
特別損失合計	11,124	2,325
税金等調整前四半期純利益	716,771	522,972
法人税等	243,966	176,317
四半期純利益	472,804	346,655
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,567	39,405
親会社株主に帰属する四半期純利益	442,237	307,249

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	472,804	346,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△530	△1,016
その他の包括利益合計	△530	△1,016
四半期包括利益	472,274	345,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441,707	306,232
非支配株主に係る四半期包括利益	30,567	39,405

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

- a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。
- b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	19,231,318	1,314,183	1,584,139	547,226	22,676,868	-	22,676,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,412	12,936	64,521	78,870	△78,870	-
計	19,231,318	1,315,595	1,597,076	611,748	22,755,738	△78,870	22,676,868
セグメント利益	820,659	299,191	31,849	94,351	1,246,051	△429,834	816,217

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△429,834千円には、セグメント間取引消去28,324千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△458,158千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	21,743,224	1,636,898	691,261	277,103	24,348,487	-	24,348,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,232	32,316	63,964	97,512	△97,512	-
計	21,743,224	1,638,130	723,577	341,067	24,446,000	△97,512	24,348,487
セグメント利益	788,048	381,981	24,937	10,898	1,205,866	△458,626	747,239

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△458,626千円には、セグメント間取引消去7,737千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△466,364千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。